

New Horizon 第15回 Lessons

Lesson 15-1 : 現在進行形 肯定文

現在進行形とは「勉強している」「食べている」といった、

ある動作が今この瞬間行われているといった「動作が一時的なもの」

を説明する時によく使われます。例えば「私は英語を勉強している」という文章の場合「この瞬間は英語を勉強しているけど、1分後は何をしているか分からない」といったことを表す際によく用いられます（ちなみに、日常的に「英語の勉強をする」という場合は、現在形が用いられます）。

現在進行形の基本的な形は「be 動詞＋一般動詞の原形 ing」となります。大きな特徴は

「be 動詞」と「一般動詞」が同時に登場する

というものです。

【現在進行形の肯定文：基本の形】

am

主語＋ **is** ＋ 一般動詞の原形 **ing** ＋～.

are

（「主語」は「一般動詞」しています）

- <例> I am studying English. (私は英語を勉強しています)
He is playing basketball. (彼はバスケをしています)
We are eating breakfast. (私たちは朝食を食べています)

【作り方】

- ステップ 1. 一般動詞の**肯定文**を作る。
ステップ 2. **be 動詞**を一般動詞の前に足す。
ステップ 3. 一般動詞を**原形に戻し**、後ろに **ing** を足す。

<例：私は英語を勉強しています>

ステップ 1. 一般動詞の肯定文を作る。 「私は英語を勉強します」

I study English.

ステップ 2. be 動詞を一般動詞の前に足す。

I **am** study English.

ステップ3. 一般動詞を原形に戻し、後ろに ing を足す。

I am studying English.

Lesson 15-2 : ing をつける際に注意しないといけない動詞

一般動詞の中には「普通には ing を普通に足せない動詞」や「そもそも進行形にしない動詞」などがあります。

【普通には ing を足せない一般動詞】

	原形	ing 形
パターン1	use (使う)	using (使っている)
パターン2	run (走る)	running (走っている)
パターン3	lie (横になる)	lying (横になっている)

パターン1 = 語尾が e で終わる動詞。e を消して ing。

<他の例> make (作る) → **making** (作っている)

パターン2 = 最後が「子音+母音+子音」の動詞は、基本的に最後の子音を重ねて ing。

<他の例> swim (泳ぐ) → **swimming** (泳いでいる)

パターン3 = 語尾が ie で終わる動詞は、ie → y で ing。

<他の例> die (死ぬ) → ***dying** (死にかけている)

*進行形は、動詞によっては「何かの動きの途中 (未完了)」を表すことができます。

<例> die = 死ぬ	dying = 死にかけている (だんだん死に近づいていっている)
stop = 止まる	stopping = 止まりかけている (だんだん速度を落としている)
lose = 失う/負ける	losing = 失いつつある (だんだん失っていっている)
	負けつつある (負けそうになっている)
win = 勝つ	winning = 勝ちつつある (勝ちそうになっている)

【基本的に進行形にしない一般動詞】

(1) 「状態」を表す動詞

<例> know (知っている) think ((意見として) 思う)

(2) 「構成」や「所有」を表す動詞

<例> have (持っている)

(3) 「知覚」や「心の動き」を表す動詞

<例> like (好き) want (ほしい)

*しかし、これらのルールにあてはまらない例外もあります。例えば「(自分の意見として) 思う / 考える」という意味の think は基本的に進行形にしません、be thinking とすると「(今、この瞬間) 考えている / 検討している」という意味になります。

【理解するポイント】

進行形は原則「その瞬間行なわれているもの」を説明する時に使われるため、動作が続くことが前提の動詞は基本的に進行形にならない。

(1) know / think

→「今、この瞬間は知っている(意見を持っている)けど、次の瞬間忘れてしまう(意見がなくなってしまう)」なんてことは通常ない。

(2) have / own

→「今、この瞬間は持っている(所有している)けど、次の瞬間無くしてしまう」ということは通常ない。

(3) like / want

→「今、この瞬間は好き(ほしい)けど、次の瞬間嫌いになる(ほしくなくなる)」ということは通常ない。

Lesson 15-3 : 様々なフレーズ⑬

1. watch TV = テレビを見る

<例> Do you watch TV every day? <あなたは毎日テレビを見るのですか>

[補足説明]

基本的に watch a TV や watch the TV というようにならないので注意。

2. (電話) Hello? This is ~ = もしもし。こちらは~.

<例> A: Hello? B: Hi. This is Takuya. <A: もしもし? B: やあ、こちらはタクヤです>

[補足説明]

Hello? は、語尾が上がるのがポイント。誰だか名乗る場合は This is ~. という表現がされる。My name is ~. とすると「私の名前は~です」と自己紹介する形になってしまうので注意 (ただし、最近では誰からの電話なのか表示される場合が多いため、知人からの電話であれば Hello? / This is ~. などは省略され、最初から Hi, ○○. How are you? (やあ、○○。元気?) といきなり会話が始まる場合が多い)。

3. My birthday is ○○. = 私の誕生日は○○です。

<例> My birthday is April 5. <私の誕生日は4月5日です>

[補足説明]

日にち自体をたずねているので、on April 5 というように、on ○○ にはならないので注意 (on がつくと「○○日に」といった意味になる)。

4. What's up? = 調子はどう? / 最近どう? / どうした?

<例> A: What's up? B: Nothing. <A: どうした? B: 何も>

[補足説明]

What's up? は、かなりくだけた挨拶。基本的に What's を What is とはしない。返しの挨拶は、特に何もなければ Nothing. (何も) / Nothing much. (特には何も) などが一般的。何かあれば "I have a question." (質問があるんだけど) など、要件を話し始める。up には「(議論・話題などに) あがる」という意味もあるため、What's up? の直訳は「何が(話題に)上がっているの?」と捉えることができ、返しの挨拶には、Nothing. ということが可能となる。

5. be thinking about ~ = ~について考えている

<例> I am thinking about tomorrow's test. <私は明日のテストについて考えています>

〔補足説明〕

「(自分の意見として) 思う / 考える」という意味の **think** は基本的に進行形にしないが、**be thinking about ~**とすると「~について(今、この瞬間) 考えている / 検討している」という意味になる。**about** のあとに動名詞(一般動詞 **ing = ~すること**)を入れる形もよく使われる。

<例> I am thinking about moving to Chiba. (千葉に引っ越すことを検討しています)

6. video game = テレビゲーム

<例> He has many video games. <彼はたくさんのテレビゲームを持っています>

〔補足説明〕

「テレビゲームが好き」など、一般的なことをいう場合、基本的に **video games** と複数形になる。また、**TV games** という表現は原則使われないので注意。

「テレビゲームをする」とする場合、使われる一般動詞は **play** になる。

<例> He plays video games every day. (彼は毎日テレビゲームをします)

Lesson 15-4 : 現在進行形 否定文

現在進行形の否定文は、基本的に be 動詞の否定文と同じ扱いになります。そのため、肯定文を作り、**be 動詞**の後に **not** を足してあげれば完成となります。

【現在進行形の否定文：基本の形】

主語 + **be 動詞** + **not** + 一般動詞の原形 **ing** + ~.

(「主語」は「一般動詞」していません)

<例> I am not watching TV. (私はテレビを見ていません)

He is not (isn't) studying English. (彼は英語の勉強をしていません)

【作り方】

ステップ 1 : 進行形の**肯定文**を作る。

ステップ 2 : be 動詞の後ろに **not** を足す。

(am 以外の be 動詞の場合、be 動詞と not の短縮形を使うことも可)

<例 : 私はテレビを見ていません>

ステップ 1 : 進行形の**肯定文**を作る。 → 「私はテレビを見ています」

I am watching TV.

ステップ 2 : be 動詞の後ろに **not** を足す。

I am not watching TV.

Lesson 15-5: 様々なフレーズ⑰

1. **Sounds** ○○ = ○○ですね (○○には形容詞が入る)

Sounds like △△ = △△のようですね (△△には名詞が入る)

<例> A: Let's go to Nagoya tomorrow. B: Sounds good.

<A: 明日名古屋に行きましょう。 B: 良いですね>

〔補足説明〕

本来は That / It sounds ~ の形だが That / It が省略されて Sounds ~. の形でよく使われる。sound には「音 (名詞)」という意味もあるが、ここでは「音がする (一般動詞)」という意味で使われている。主語が That / It なので、sounds と最後に 3 人称・単数・現在形の s がついている。

Sounds ○○の場合、○○には形容詞が入り、Sounds like △△ の場合は、△△に名詞が入る (この like は「~のよう」という前置詞と考えると、前置詞の後は「名詞の形が入る」と理解できる)。

<例> Sounds good. (良いですね)

Sounds like a good idea. (良いアイデアのようですね)

ただし、fun の場合「形容詞 (楽しい / おもしろい)」と「名詞 (楽しみ / 面白いこと)」の両方の形があるため、Sounds fun. / Sounds like fun. の両方とも使える。

2. look forward to ~ = ~ を楽しみにする / ~ に期待する

<例> I am looking forward to the party. <私はパーティーを楽しみにしています>

[補足説明]

forward は「前方へ / 先へ」という意味。be looking forward to ~ と進行形の形で使われることが多い。また、I am looking forward to ~ing (～することを楽しみにしています) という表現はよく使われる。

<例> I am looking forward to *seeing you. (あなたに会えることを楽しみにしています)

*see には「会う」という意味もある

3. take a picture = 写真を撮る

take a video = 動画 (ビデオ) を撮る

<例> Can I take a video? <動画を撮ってもいいですか>

[補足説明]

写真 / 動画 (ビデオ) を複数撮っているとりたい場合は、take (some) pictures / videos と複数形にすることも可。

4. best friends forever = ずっと親友

<例> We are best friends forever. <私たちはずっと親友です>

[補足説明]

best は「最高」のという意味。forever は「永遠に」という意味。若者の間では、チャットなどで「大親友 / 相棒」という意味で BFF と略して使われることがある。

5. surprise party = サプライズパーティー

<例> Let's have a surprise party for Ken. <ケンのためにサプライズパーティーをしましょう>

[補足説明]

ここでは、surprise は「形容詞」として使われているが、surprise は「動詞 (驚かす / びっくりさせる)」や「名詞 (驚き / びっくり)」という意味で使われることが多い。また「サプライズパーティーをする」という場合、動詞は have がよく使われる。

Lesson 15-6 : 現在進行形 疑問文

現在進行形の疑問文も、基本的に be 動詞の疑問文と同じ扱いになります。そのため、肯定文を作り、be 動詞を文頭に持ってくれば完成となります。

【現在進行形の疑問文：基本の形】

be 動詞 + 主語 + 一般動詞の原形 ing + ~?

(「主語」は「一般動詞」していますか)

<例> Are you watching TV? (あなたはテレビを見ているのですか)

Is she talking *to your mother? (彼女は、あなたの母親と話しているのですか)

*「～と話す」という場合、talk with / talk to という表現が良く使われる。

【作り方】

ステップ1 : 進行形の肯定文を作る。

ステップ2 : 文の先頭に be 動詞 を持ってきて、最後を ? にする。

<例 : あなたはテレビを見ているのですか>

ステップ1 : 進行形の肯定文を作る。→ あなたはテレビを見ています。

You are watching TV.

ステップ2 : 文の先頭に be 動詞 を持ってきて、最後を ? にする。

Are you watching TV?

【疑問文の答え方】

答え方は、基本的に Yes / No の2種類。

Yes, 代名詞 be 動詞.

No, 代名詞 *be 動詞 not.

* am 以外の場合、be 動詞 + not の短縮形を使うのが一般的。

be 動詞で聞いているので be 動詞 で答える。

do / does で答えないように注意。

<例> Are you studying English with Ben?

Yes, I do. =×

<例> Are you watching TV?

はい → Yes, I am.

いいえ → No, I am not. (No, I'm not.)

そして、現在進行形の疑問文が、What や Who といった疑問詞に足される場合は、疑問詞を疑問文の前に足してあげれば OK です。

【疑問詞+現在進行形の疑問文：基本の形】

疑問詞 + be 動詞 + *主語 + 一般動詞の原形 ing + ~?

- <例> What are you doing? — I am doing my homework.
(あなたは何をしているのですか。— 私は、私の宿題をしています)
- Who is he talking to? — He is talking to Mr. Murai.
(彼は誰と話しているのですか。— 彼は村井さんと話しています)

【作り方】

- ステップ1：疑問詞の部分（何、など）に同じ種類の**適当な単語**を入れて**疑問文**を作る。
ステップ2：入れた“適当な単語”を「**疑問詞**」に戻す。
ステップ3：疑問詞を**文頭**に持ってくる。

<例：あなたは何をしているのですか>

- ステップ1：疑問詞の部分（何）に同じ種類の**適当な単語**を入れて**肯定文**を作る。
→「あなたは、あなたの宿題をしているのですか」

Are you doing your homework?

- ステップ2：入れた“適当な単語”を「**疑問詞**」に戻す。

Are you doing what?

- ステップ3：疑問詞を**文頭**に持ってくる。

What are you doing?